

## はじめに

近年、インターネットをはじめとする情報通信技術の急速な発達により、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。便利さの陰で、人間関係が希薄になり、実際の体験や想像力を伸ばす機会が少なくなっているといえます。

このような中であって、読書活動は子どもの心の豊かさの発達に影響を与えているといわれています。

特に、乳幼児期に楽しむ絵本の読み聞かせは、親子が触れ合う大切な時間であり、読んでくれる人の心や思いを子どもへ直接伝え、相手との一体感、信頼感を与えることができます。

また、成長して、一人で読書を楽しむようになった子どもにとって、本は人の心の内面や人と人とのつながりを想像するきっかけとなり、本を使って調べる経験は、新しい知識を知り、社会的なことや科学的なことなど様々な分野へ興味を広げることにもつながります。

平成13年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」においても、子どもの読書活動は、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものであるとされており、春日部市においても、このような読書の意義を踏まえた事業をより計画的に実施するため、2019年度（平成31年度）から2023年度（平成35年度）までの5年間を計画期間とした「春日部市子ども読書活動推進計画」を新たに策定しました。今後も、この計画に基づき、これまで以上に事業の充実を図ってまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重なご意見をいただきました市民の皆様、関係機関・団体の皆様、また、熱心なご討議をいただきました春日部市立図書館運営審議会の委員の皆様には深く感謝申し上げます。

2019年（平成31年）3月



春日市長 石川良三